

令和〇年度 保幼小交流活動記録 (例)

活動日時	令和〇年〇月〇日 (〇) 10:00~11:30		
活動内容	「はじめましての会をしよう～学校探検をして遊ぼう～」		
活動場所	小学校体育館・中庭・運動場		
対応職員 人数	(保) 主任・年長児担任2名・支援補助教諭2名 計5名		(幼) 園長・年長児担任2名・支援補助教諭1名・バス運転手1名 計5名
	(小) 1年生担任2名・支援学級担任2名・教務・校長 計6名		
	保育所(園)・幼稚園	時間・内容	小学校
	■幼児の活動 ○教師の援助		■児童の活動 ○教師の援助
保幼小名 学年人数	〇〇保育所 年長児□名 〇〇幼稚園 年長児□名	【事前確認・準備・持参物・配慮事項等】	1年1組□名 1年2組□名
当日の ねらい	・小学校のいろいろな施設を知ることで、小学校への興味・関心をもつことができるようにする。 ・小学校のいろいろな施設の使い方を知り、1年生と楽しく過ごす。	小学校 ・1年生と幼児のペア名簿を作成し、〇〇園に送付 保育所・幼稚園 ・幼児名簿を事前に送付 ・上靴、水筒持参 ・バスの乗降場所の確認	・自分より年下の幼児との活動を通して、思いやりの心をもつ。
お互いの ねらいを 共有する			事前準備を確認する
直前に情報共有 が必要なことを 確認する	○欠席児の状況など、小学校との連携を事前にとっておく。 ■自分の靴や水筒を所定の場所に置く。 ○小学校の教室の様子や雰囲気や安心できるように保育者が傍にいたり、言葉かけをしたりする。 ■戸外へ移動する。 ■ペアの友達と体を伸び伸びと動かし、運動場にある遊具に挑戦する。 ○小学生と幼児のペアでの活動を意識できる言葉かけをしたり、コミュニケーションの仲立ちをしたりして、互いの気持ちが表せるようにする。 ○水分補給の言葉かけをするなど体調面に留意する。 ■はじめの場所に並ぶ。 ○交流活動を振り返る言葉かけをし、感じたことや考えたことが発表できる雰囲気をつくる。	10:10~ 小学校到着 1. はじめの言葉 2. 1年生がペアの幼児の名前を呼んで自己紹介 3. 中庭と運動場の紹介と交流の約束(トイレ・お茶タイム) 10:30~ 戸外活動 4. 中庭に行こう 5. 運動場で遊ぼう 活動の進行をどちらが主となって進めるのか、役割分担を明確にしておく 11:20~ 終わりの会 6. 振り返り、感想 7. 終わりの言葉	○欠席児の状況など、小学校との連携を事前にとっておく。 ■幼児に分かりやすく伝えるために、ゆっくりと話す。 ○幼児に寄り添いながら活動するように言葉かけをする。 ■戸外へ移動する。 ○集合場所・水筒置き場を伝える。 ■ペアの幼児に遊具などを紹介し約束を守って安全に気をつけて遊ぶ。 ○遊び方に注意を払う。コミュニケーションがうまくとれない児童には必要に応じて言葉かけをし、支援をする。 ○水分補給を適宜するように言葉かける。 ■終わりの会で振り返りや感想を言う。 ○国語科での学習を生かし、理由を述べてできるだけ詳しく言えるよ

	<p>■お礼の言葉や挨拶をする。 ○交流活動での感謝の気持ちが伝えられるように言葉かけをする。</p>	<p>【活動で予想される「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】 ・健康な心と体 ・協同性 ・道徳性・規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・言葉による伝え合い</p>	<p>うに励ます。 ■「ありがとう」の気持ちがこもった挨拶をする。 ○今日の姿を認め、評価し、今後の励みとなるようにする。</p>
<p>教育課程の位置付け</p>	<p>活動を教育課程に位置付ける</p> <p>(保・幼) 学校探検を通して、小学生や小学校の先生との触れ合いを楽しみ、小学校入学への期待を膨らまそう。 (小) ★生活科「なつがやってきた」 国語科「ぶんをつくろう」「わけをはなそう」「おもいだしてはなそう」 体育科「固定遊具使った運動遊び」</p>		
<p>事後の振り返り</p>	<p>○月△日（交流の翌日）於：小学校</p> <p>【保育所・幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒園児の成長した姿を見ることができた。子どもたちの姿からは、園の先生に成長を認められたことで自己肯定感の高まりを感じられた。 ・学校で何を体験させたかったのかを明確にしておくことが必要であった。施設体験以外にも、「チャイム（時間で動く）」「手を挙げる（発表の仕方）」等、少しずつ小学校生活の様子を伝えていくことも大切。 ・幼児にも名札を準備していたことで、お互いが名前を呼び合うことができ、親近感が深まった。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園や小学校の教師が、写真を見ながら、子ども同士の関わりや成長の様子を多角的に捉え、振り返ることができた。 ・日頃とは違う子どもたちの一面を見ることができ、教師の捉えが変わった。 ・保育所・幼稚園の先生方の言葉かけが、子どもの意欲を高めたり子どもの気持ちを大切にしたりした言葉かけで参考になった。 ・「幼児期の終わりまでにそだってほしい10の姿」を共通理解したことで、交流活動の場面においても、育まれる姿が小学校へつながっていることが分かった。 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師同士がこの交流活動を通して、円滑な接続に向けて何を体験させたいのかに意識を向けたことで、交流活動前から計画的に子どもたちへの働きかけをすることができた。 ・教師同士が事前だけでなく事後の振り返りをするすることで、子どもの姿を多角的に捉えることができ、子どもの見取り方に新たな気づきがあった。 ・次回交流活動は11月の予定。子どもの気持ちを持続させるための工夫が必要。→ペアの子どもの写真掲示、お礼の手紙など。 		

- ・振り返りを次の交流活動に生かす
- ・お互いの子どもの学びや育ちについての理解を深める
- ・記録に残し、次年度に引き継ぐことができるようにする